

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立北野中学校

4月18日に3年生を対象に文部科学省によって実施された「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。本調査は、「国語」「数学」「英語」「生徒質問紙」からなり、学力だけでなく生活習慣との関係なども調査されました。

■調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■本市の調査結果

京都市は、国語・数学・英語三科ともに全国平均正答率を少し上回る結果となりました。本校におきましては、特に数学で全国平均を大きく上回ったほか、国語も英語も同じく全国平均を上回りました。

以下に、各教科や生徒質問紙の内容を詳しく分析した結果を紹介いたします。お子様のアドバイスにもぜひご活用ください。

【国語】

評価の観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」であり、問題の形式は「選択式」「短答式」「記述式」である。本校は、平均正答率で見ると、ほぼすべての領域・評価の観点において全国および京都府平均よりもわずかに高かった。

[設問別分析]

- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関する設問での正答率が両平均よりも高く、理解度が高い傾向にあると言える。「書くこと」に関しては京都府平均と同じであった。
- ・正答率が全体的に高くない問題が漢字の問題と条件を満たした作文を書くことであった。全国的にも誤答が多い問題であるが、普段から意識させて使わせる必要があると感じた。今後も使っていかなければいけない力なので、引き続き指導をしていきたい。加えて、条件付の記述式で、条件を「全て満たす」解答をどう意識させていくかも課題としたい。

[生徒質問紙の項目] (「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒)

	北野中学校	京都府	全国
国語の勉強は大切だと思いますか？	91.4%	91.6%	92.4%
国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか？	90.1%	88.3%	88.7%
国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか。	69.2%	62.2%	63.9%
国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか。	74.1%	74.8%	77.2%

【数学】

令和5年度の調査においては、出題の領域が「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」であった。また、評価の観点も、「知識・技能」、「思考・判断・表現」であり、問題形式は「選択式」、「短答式」、「記述式」であった。正答率は、すべての領域で全国平均を上回っており、いずれの観点も全国平均を上回っていた。特に図形領域は、全国平均を大きく上回った。

全国平均より正答率が低い問題は、「数と整式の乗法の計算をする問題」、「複数の集団のデータの分布を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題」、「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題」の3問であった。「分配法則」、「データの活用」、「グラフや式を用いての説明」が課題として挙げられる。授業においては、1・2年生で学習した内容を振り返る時間や、グループ活動の時間を効果的に取り入れ、これらの課題解決を図りたい。

〔生徒質問紙の項目〕（「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒）

	北野中学校	京都府	全国
数学の勉強は好きですか？	62.8%	56.1%	58.1%
数学の勉強は大切だと思いますか？	83.7%	85.6%	86.6%
数学の授業の内容はよくわかりますか？	86.0%	77.2%	76.2%
数学の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか？	74.4%	75.6%	76.5%

数学の勉強は好きであり、授業の内容もよく分かると答えた生徒が多いが、数学の勉強は大切であり、将来社会に出たときに役立つと思っている生徒が全国平均に比べると少ない。章の導入だけでなくあらゆる場面で、数学の良さ・生活に関連づけた題材を取り入れたい。また、問題解決の方法を数学的に説明することができるよう思考過程を重視した授業を展開していきたい。

【英語】

英語（3技能） 聞くこと、書くこと、読むことの3技能の正答率は全国平均を上回っている。

- ・聞くこと：まとまった内容の英文を聞いて、話し手の意図を捉える問題に関しては課題が見られる。
- ・書くこと：英文を読んで自分の意見を書くことや会話が成り立つように語を補ったり、適切な形に変えたりする問題はともに概ねできている。また、文章を書くことに関しては英語が苦手な生徒には難しい問題になるが、無回答率が全国平均と比べてかなり低いことから、自分がわかるところまで書いてみようといった問題に前向きに取り組んだ姿勢がみられた。
- ・読むこと：文章を読んで内容そのものを理解する問題に関しては概ねできている生徒が多かったが、概要や要点をとらえることにはまだ課題が見られる。

英語（話すこと） 全国平均をわずかながら下回っている。

動物園で留学生に、看板の情報からゾウの誕生日を伝える問題の正答率が低かった。その一方で、絵を見て留学生に次の予定を伝える問題、選択肢からお土産としてふさわしいものとその理由を答える問題では全国平均を上回っており、絵を見て状況を伝える問題はできている生徒が多かった。

また、環境問題についてのプレゼンテーションを聞いて、自分の考えとその理由を1分でまとめ、30秒で答える問題では、解答はしているものの情報量が不足しているもの、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法などの誤りがあるもの、解答に際しての条件を全て満たしていないものが多かった。

話す問題においては、英語が苦手な生徒には書く問題同様に解答が厳しいものもあるが、無回答率が全国平均と比べてかなり低いことから、問題に前向きに取り組んだ姿勢がみられる。

コロナ禍だったということもあり、ペア活動が制限された学年なので、なかなか授業内で話す活動ができなかったが残りの授業の中で英語を話す機会を増やして、英語を話す楽しさを少しでも実感させたい。

[生徒質問紙の項目]

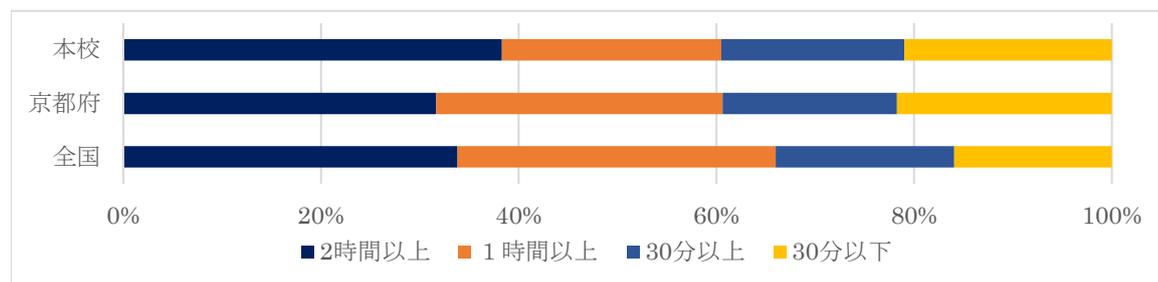
	北野中学校	京都府	全国
英語の勉強は好きですか？	45.7%	48.6%	51.9%
英語の勉強は大切だと思いますか？	86.4%	86.3%	86.9%
英語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思いますか？	91.4%	87.6%	87.5%
あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか？	34.6%	37.9%	36.7%

(「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒)

多くの生徒が「英語の勉強が大切である」「英語の授業で習ったことが将来の役に立つ」と考えてはいるものの、英語の勉強が苦手な生徒の割合が多いことが課題である。今後の授業では次のことを大切に、授業を組み立てていく必要がある。

【生徒質問紙】

Q 学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む。）



授業以外で「1日2時間以上勉強する」生徒の割合が全国平均と比べて上回っている一方で、「30分より少ない」と答える生徒の割合は全国平均と比べて多くなっています。このグラフではみ取れませんが「全くしない」と答えた割合も全国平均より多いものとなっています。

- ◇「自分にはよいところがある」「将来の夢をもっている」「人の役に立つ人になりたい」といった項目での肯定的な回答は、わずかながら京都府、全国平均を下回っています。とはいえ、「友達関係に満足」「困りごとを先生や大人に相談できる」といった回答の割合は高く、安心して学校生活を送っていることがわかります。生徒が自分に自信をもて、困難なことに挑戦できる姿勢をもつことができるよう取り組んでいく必要を感じています。
- ◇「話し合う活動を通じて自分の考えが深まったり広がったりした」という項目の肯定的回答は、京都府や全国の数値を大きく上回っています。人と繋がりながら学びを進めていることがわかります。
- ◇「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。」という項目は、全国平均よりも低く、夢に向かうための家庭学習は決して計画的には行えていない現状も見えてきました。携帯電話やスマートフォンの1日の使用量が多くなり、学習時間にまで影響を与えていることが想像されます。携帯電話やスマートフォン、ゲームについて、子どもたちがルールを守り、時間を決めて使用するよう、学校からも指導いたします。ご家庭でのより一層の働きかけをお願いします。